

同友ひろしま

No. 515

2025.6.20



発行

一般社団法人
広島県中小企業家同友会

広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ8F
TEL (082) 241-6006 FAX (082) 241-6007
E-mail: info@hiroshima.doyu.jp

編集責任者・広報部長 小谷 伸子

一般社団法人 広島県中小企業家同友会 第53回定時総会

【総会スローガン】

Human First! ~共に未来を切り拓き、輝く人・企業・地域づくりを~



一般社団法人
広島県中小企業家同友会

同友会の三つの目的

1. 同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。
2. 同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。
3. 同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平穏的な開発をめざします。

広島同友会ホームページ



提案者

議長

5月22日(木)開催 県総会

- P2・県総会 開催 新年度方針を深める分科会で学びあう
- P3・県総会 第一分科会「行動することで見てきた未来志向の企業づくり」
- P4・県総会 第二分科会「Human Firstの組織づくり、できていますか？」
- P5・県総会 第三分科会「企業づくりは地域づくりと一体で取り組む」
- P6・呉支部 高校生と保護者のための企業ガイダンス 開催
- P7・青年部連協総会 基調講演
「未来への挑戦ー広島経済の未来を担う青年経営者へー
ポテンシャルを開放せよ！」日新産業㈱ 橋崎牧人氏(兵庫同友会)
- P8・広島中・東・西・福山・尾道・東広島支部総会 開催報告
- P9・備北支部総会開催報告/広報ラボ/新会員のご紹介/県理事会報告
- P10・政策アンケートに回答しよう!/あとりえ。SHINKAWA ㈱新川/ベスト15

【今年度のスローガン】

Human First!

～新時代へ挑戦～

6月1日現在の会員数 3,007名

一社) 広島県中小企業家同友会 第53回定時総会

Human First! ~新時代へ挑戦~

広島同友会の定時総会が5月22日、リーガロイヤルホテルにて開催されました。開会あいさつでは栗屋代表理事より「中小企業を取り巻く経済情勢は厳しさを増している。今年度の重点課題は2点。

1. 「労使見解」発表から50年。経営の成文化と実践に取り組む、
2. 地域に同友会型企業を増やし、地域課題を自社課題として取り組むこと」と報告がありました。

また、会の財政状況の厳しさにも触れ、会の財務体質強化の必要性も確認されました。

その後、定時総会の議事に移り、2024年度活動報告、2024年度決算・会計監査報告、2025年度方針、2025年度予算案、役員の一部改選が提案され、拍手で承認されました。



第二部では3つの分科会を開催。(概要は後掲ページを参照)

第三部の懇親会では、山西実行委員長の乾杯の後、以下の表彰も行われました。

●edoyu活用表彰

南②地区会、備北支部

●2024年度 組織委員会 増強表彰

支部純増数：広島東 26名増

支部純増率：東広島 4.5%

地区会純増数：南②地区会 9名増

地区会純増数：南③地区会 9名増

地区会純増率：I地区会 13%



組織委員会 増強表彰

【個人賞】

増強キング：福山支部 B地区会 吉山聡氏

増強クィーン：広島東支部 南③地区会 岡村由布子氏

増強クィーン：広島東支部 南④地区会 松尾友美氏

●役員研修大学修了者

・広島東 (有)博永 代表取締役 松尾友美氏

・東広島 (有)ビットラージ 取締役 下條孝志氏

●企業変革支援プログラムver2表彰

支部部門 広島東支部

地区会部門 安芸地区会



役員研修step1 修了生

第1分科会

行動することで見えてきた未来志向の企業づくり

～頼まれごととは試されごと！ハイかイエスか喜んで！～

報告者：㈱榮成興産 代表取締役社長 板垣多一氏（広島東/県地域共生副委員長）

■自己紹介、自社紹介

1970年広島に生まれました。専門学校卒業後はサラリーマンをしていましたが、家業を継ぐために戻り、2017年に社長に就任しました。

弊社は住宅建築・リフォーム・リノベーションの他、障がい者グループホームの建築・運営を行っています。



報告者 板垣氏

■親亡き後、工務店ができることは？

当時主な業務の一つだったリフォームの市場は縮小の傾向にあり、新築着工数は徐々に少なくなると予想されていました。倒産リスクの影がちらついていたのです。

そんな中、運命の転機が訪れます。放課後等デイサービス施設の改修工事を行った際に、様々な特性と背景を持つ子どもに出会いました。この子たちは親亡き後、どう生活をするのか。工務店ができることは何か…。真剣に考え始めました。そして、「工務店としてできることは、いつまでも安心安全に過ごせる場所を作ること」と考え、新事業へ挑戦することを決めました。

■頼まれごととは試されごと

障がい者グループホーム関連事業は、ブルーオーシャンでした。広島市の人口は横ばいにもかかわらず、障害者手帳を持っている人は増えています。さらに、広島市はホームの供給率が少なく、待機者がいることが窺われました。そこで、障がい者グループホームの新築供給を柱とすることに方針を定めました。

実績がなければ説得力がないと考え、自分で土地を取得してモデルハウスを建築。実際の建物を見ていただくことでイメージを持ちやすくなり、建築等の相談が徐々に増えていきました。

さらに、「運営会社がいなくなったらどうなるのか」という相談をもらうようになりました。これは、自社の可能性を広げるチャンスと感じ、運営にもチャレンジしています。「頼まれごととは試されごと」です。満を持して、自社の運営するグループホームが完成しました。絶賛運営中です。

グループホームに取り組んで、三つの強みが新たにできました。1) 豊富な経験。2) 専門知識。3) 地域密着。2020年度には広島県では供給戸数でシェアナンバーワンになりました。

■同友会の活動がもたらす広がり

本格的にグループホーム事業を始めるきっかけには同友会の地域共生での学びも大きく関わっています。誘われてたまたま参加した地域共生委員会で、障がい者を取り巻く問題を深く知ることができました。

工務店はハード面の貢献はできますが、実際に暮らすためにはソフト面の充実が不可欠です。学んだ知識と同友会のネットワークによって、ソフト面をお願いできる運営会社等と出会うことができました。信念と情熱を伝えることで、共感の輪が広がったのだと実感しています。

同友会活動は多様です。バスツアーの企画等に積極的に関わり、さらに会員を巻き込むことは新たな事業展開や事業貢献につながります。経営への影響は計り知れません。

■最後に

社会情勢は不安定です。こんな時こそ、自社を見つめ直し、できることを見つけ、突き進み、突き進む過程で企業づくりを進めることが大切だと思います。

これからも同友会の三つの目的に向けて、学びあい・支え合いながら企業活動を進めていきたいです。

（記：事務局 橋詰）



座長 長谷川氏（左）、室長 下高氏（右）

<会社概要>㈱榮成興産

設立：1988年10月21日 資本金：300万円

従業員数：27名

事業内容：総合建設業及び不動産取引業及び福祉事業

会社HP：https://www.shigenari-k.com/



県総会第2分科会「Human Firstの組織づくり、できていますか？」

パネラー

(有)アピラ 所長

小谷伸子氏 (広報部長/広島西)

シンワ㈱ 代表取締役

太原真弘氏 (広島西支部長)

コーディネーター ビーエルシー㈱ 代表取締役

石田美子氏 (女性部連絡協議会会長/広島東)

■広島西支部で進んだ女性参画

西支部では、現在女性理事の比率が30%近くに達し、女性会員の活躍が目覚ましい成果を生んでいます。しかしかつては、女性部役員の選出が困難なほどに、活動している女性会員が不足していました。そのため小谷氏は約10年前に女性部副会長として西支部へ移籍しました。その際に、①支部と女性部会をつなぐこと、②女性会員の例会参加を促すこと、③新規女性会員を獲得することを目標に移籍しました。はじめに女性部会員を増やすために他支部にも協力してもらい女性会員を少しずつ増やしていきました。そして女子会定期開催の恒例化で懇親を図りました。困ったことや話にくいことも女子会で相談ができる場を作りました。親睦が膨らむことで、女性会員が地区例会で体験報告の機会が増え、参加率も高まり、地区・支部と女性部会が繋がったと実感することができました。



小谷氏



太原氏

さらに「やってみたらいいじゃん」という支部風土が背中を押し、女性会員が主体的に役割を担うようになりました。支部理事会でも、遠慮なく意見が言える雰囲気が醸成され、女性たちは“助手席”ではなく“運転席”に座るようになりました。

さらに「やってみたらいいじゃん」という支部風土が背中を押し、女性会員が主体的に役割を担うようになりました。支部理事会でも、遠慮なく意見が言える雰囲気が醸成され、女性たちは“助手席”ではなく“運転席”に座るようになりました。



■企業で起きた多様性による変化

広告制作や印刷業を営んでいる小谷氏は、高齢者や障害者、就労支援を受ける方々と共に働く中で、社内文化が変わってきたそうです。かつてはデザイナーが1つの仕事を請け負う形でしたが、今では細分化して、“できることをできる人がする”という風に変えることで、仕事を俯瞰してみる習慣や助け合う心や共同で取り組んでいこう雰囲気が出てきました。

ホテル用の使い捨て歯ブラシなどを卸し専門総合商社を営む太原氏は、取締役として奥様の参画をきっかけに、トイレの洋式化や社内環境の見直しが進みました。以前は男性ばかりの職場で和式トイレに違和感を持つこともなかったそうです。女性社員が増える中で「和式トイレのままでは女性は働きづらい」という率直な指摘により、固定観念が崩され、大きな気づきとなりました。

■理事会の改革で“人の声”を活かす

支部理事会でも組織風土の改善に向けた具体的な改革が進んでいます。その一つが「一人1分間スピーチ」です。全ての理事が必ず一言発言する仕組みを取り入れたことで、発言機会の偏りをなくし、互いの人となりを知る場が生まれました。

また、支部理事会の開催時間を前倒したり、ペーパーレス化を勧めたりすることで、様々な事情や意見を尊重して、より参加しやすい環境へ変化しました。

さらに、障害者雇用など地域共生をテーマとした例会の開催も実現しました。「目の前にいるのに、気づいていなかった人たちの存在に目を向ける大切さ」を全員で共有する場となりました。

■“HUMAN FIRST”から生まれる持続可能組織

「女性会員が増えると組織の雰囲気が変わり活性化するという単純な問題ではありません。

多様な視点で誰もが声をあげることができ、挑戦できる環境が育まれることで、人を大切にする風土、受け入れる風土が醸成。これこそ“HUMAN FIRST”を原点とする、サステナビリティ社会、組織の実現と考えます。

(記：事務局 大塚)

第3分科会

企業づくりは地域づくりと一体で取り組む～農業を始めてわかった、地域とのつながりの大切さ～

報告者：新谷・農園 代表 新谷慎一氏

■農業未経験からの転身



わが社は白木町で、ほうれんそう・小松菜・サラダ水菜・春菊などを野球場約1面分のハウスで栽培しています。従業員は6名、2000年に創業しました。

私は高校を卒業後、建設会社で就職しましたが、体を壊したため、会社を退社して療養生活に入りました。その時に「広島活力農業経営者育成事業」の第1期生の募集を知り、応募しました。建設会社で在職中に造園施工管理技士の資格をとっており、植物のことなら少しはわかる、というのが理由の一つでした。

育成事業は2年間のカリキュラムで、1年目は基礎研修で、2年目は実地研修。1a（アール=100㎡）のハウス6棟を管理し、栽培から出荷までを行います。土地の方に挨拶をすることでスタート、行政も初めての取り組みで手探り状態で、作業手順も道具もない状況でした。

■就農～見ず知らずの地域へ

実地研修前に白木町井原に家族ともども移住し、22aのハウスで就農のスタートを切りました。

一軒屋をお借りした大家さんに挨拶すると、「あんたあ、どこの出身や」「音戸です」「ほうか、ウチの娘が音戸に嫁いだんじゃ。代わりにお前が来た。子どもだと思ってかわいがってやる」といったやり取りから始まり、本当にずいぶんかわいがってくれました。地域の方も受け入れてくれました。

もっと地域に溶け込むために、試行錯誤が始まります。自治会の役員になったり、体協の役員も引き受けました。一生懸命取り組むのですが、空回りしました。それを察した地域の方から、「関係性は薄くてもいいから、もっと広く関わってみたら？」と言われ、消防団にも入りました。そうすると、だんだん地域の方の情報が入るようになりました。食育体験などにも取り組み、農業そのものへの理解も広がっていきました。

■どん底からの復活

農業を事業化しようと、規模拡大に取り組みます。働く方と労働協約を結び、役割分担で効率を高めよう

としました。外国人の雇入れも視野に入れました。この時にお世話になったのが、社労士の瀬川さんです。同友会にもお誘いを受け、2010年に入会しました。

事業意欲に燃え、栽培面積は108aまで増えていましたが、2018年7月、西日本豪雨災害に見舞われます。ハウスは8割が水没し、作物は全滅しました。必死に復旧に取り組み、秋口には種付けができるまで回復し、売上はなんとか3～4割減にとどめました。とはいえ、復旧費用の工面や、地元の方の嫌がらせもあって、ついには気力も失いかけていました。

現場から逃げるように参加した北支部青年部会の例会で、アパホテルの元谷社長の話を聞き、心が震えました。頑張る勇気をもらい、心機一転。立ち退きになった選果場を移転・新築し、倍の規模に。梱包機を導入して、付加価値を高めました。

■農業の未来を見据えながら。

少し周囲を見渡すと、地域の農業には課題が山積みです。一つは地域の耕地の維持発展が見込めないこと、もう一つは営農の担い手が減っていることです。育成事業で後輩は育っていますが、高齢化で稲作農家は減り続けています。耕地はいったん荒れると復旧がむづかしいのです。また温暖化によって、種の産地が打撃を受けており、危機的状況です。

こうした中、27年前に受け入れてくれたこの地域に農業で恩返しをしたい、という思いが膨らんできました。稲作に挑戦し、地元のコメ作りを支えたいと思います。

食は人間の最も大切なものです。だからこそ地域から食を支えたい。広島サミットに食材を提供したご縁で、広島市のふるさと納税返礼品に採用されました。さらに事業拡大をしていきたいと思っています。理念に掲げた「選ばれる食材を目指して お客様満足の商品を」を追求していきます。（記：事務局 橋本）



呉支部 第7回「高校生と保護者のための企業ガイダンス」(5/17開催)

地域一丸となって若者残し育てることができる呉に！

■呉で地域一丸の取り組み

呉支部では、2018年より「呉の中小企業を知ろう！高校生と保護者のための企業ガイダンス」を開催しています。第7回目となる今回は、5月17日（土）シンヨーオークアリーナにて開催されました。

高校生及び先生方と保護者の来場者数は700名。出展数は同友会会員、会員外企業、行政機関含めて110社。総勢1100名の参加がありました。



ガイダンス会場

このガイダンスの目的は「地域で若者を育て、地域に残す。(1)呉の中小企業を地域の高校生に知ってもらいたい、(2)保護者の方にも知ってもらいたい、(3)呉で暮らし、呉で働くきっかけにしていきたい」。また、「進学で呉市外に出た高校生が、卒業後、就職のために呉に帰ってくるきっかけづくりの場にもしたい」という思いもあります。

■初の試み「実際に体験してみよう」

以前から学校や行政より「仕事を実際に体験できるようにしてほしい」という要望がありました。初の試みとして、屋外に「体験型ブース」を展示しました。

電力測定と自動車の展示と給電、移動式サービスカーによる出張タイヤ交換の実演、運転席でVR運転体験、



タイヤ交換を体験する様子

測量器機で測量体験など8社がそれぞれ工夫を凝らしたブースとなりました。最初は戸惑っていた生徒さんが、実際に体験し、「こうなるんだ」という表情が印象的でした。



企業側も説明に熱が入ります

■地域の課題は経営課題

広島県が5月12日に公表した人口移動統計調査（月報）によると、2024年4月～25年3月の社会減（海外との流出入含）が、県内23市町で最多の1165人となったことが分かりました。しかし、同友会も呉市も以前からこのことに関しては危機感を持ち、それ故にこのガイダンスに力を入れて取り組んできました。



動画を使ってイメージしやすく

地域課題を経営課題として捉え、どう解決していくか。働きがいを持ち安心して働ける魅力ある企業づくりをめざす、そういう企業を地域に増やす。そのための活動を支部としても取り組んでいきます。

「地域で育った若者を、地域に残したい!」。次年度に向けてすでに実行委員会も立ち上がり、高校生の皆さんにとって、より実りあるガイダンスにするための準備もスタートしています。

(記：事務局 木下)

第19回青年部連絡協議会総会 基調講演

「未来への挑戦—広島経済の未来を担う青年経営者へ—ポテンシャルを開放せよ！」

報告者：日新産業㈱ 代表取締役社長 橋崎牧人氏（兵庫同友会）

我が社は創業63年、私で3代目です。社員数は41名、平均年齢は32歳と鉄鋼業界では若い方です。これは新卒採用を続けてきたためです。また、社員の3割は女性社員という点も特徴だと思います。



橋崎牧人氏

私は、2010年に日新産業㈱に入社しました。リーマンショックの影響が続いている会社を立て直す戦略があったわけではありませんが、サラリーマンを続けるより後悔が少ないと思い、継ぐことを決めました。

■経営者の覚悟で会社は変わる

入社当時はやる気に満ち溢れており、勢いだけで飛び込み営業をしていました。しかし、他社より安ければ買っていただける営業を続けていたため、業績が段々と下がっていきました。退職者が止まらず、当時15名いた社員が9名になりました。退職理由を聞くと、「あなたに未来を感じない」と言われました。その時、会社の業績が悪い理由を業界、父親、社員のせいと他責にしていたことに気が付きました。覚悟を決め、右腕となってほしい社員に「人生を預けてほしい」と伝え、一緒に歩き始めました。

同友会にも入会しました。本会・青年部・経営指針をつくる勉強会にとにかく参加していました。沢山の方に助言をいただき、第1回目の経営指針発表会を行いました。初めての発表に、社員の反応はありませんでした。「経営指針書を使って会社を絶対作り変える」という宣言をして、その日を終えました。それから色々な取り組みを始め、業績が少しずつ回復しました。経営者が「みんなでやっぺいこう！」と覚悟を決めて動くことで会社が変わると実感した瞬間でした。

■ビジョンを掲げ、今をつくる

しかし、その後何年も売上が5億円を超えない年が続きました。2017年に、青年部の先輩に、「5億を壁だと思えから超えない。10年後のもっと高い壁を設定すれば超えることができる」と言われ、売上35億円という壮大なビジョンを掲げました。理由は「35億」というネタが当時流行っていたからです。自社は鉄の切断のみ行っていましたが、同業の35億円規模の企業は、鉄の加工を全てできる企業だと知りました。10年ビジョンを作り、今何をしなければいけないの

かわかるようになるまで5億円の壁を越えることができました。

その後のコロナ禍でも、ビジョンを掲げたことで、業績を伸ばし続けることができ、売上12億円を達成しました。

■社員を信じて頼る

2023年、1年で日本人正社員の半分の10名が退職しました。私が社長になり4年、組織成長が業績に伴っていませんでした。工場に落書き、仕事中にさぼる、ルールが守れないといった社内でした。私は、罰則を強め、社員を監視し、社員が信じられなくなりました。自分の理想と最もかけ離れた状態で、同友会の仲間にも言えませんでした。

問題から目を背け、社員を頼ろうとしない姿勢に、ある方から「お前は社員を馬鹿にしている」と言われました。10名の退職後、残ってくれた社員には大きな負荷がかかっていた。それでも頑張ってくれる姿を見て、もう一度頑張ろうと決意しました。

私が本当に作りたい組織は「1人1人が本気で向き合いつながっており、全員で共通のGOALに夢中で走っている」状態です。仲良くなってからゴールをめざすのではなく、共通のゴールに向かう中で仲良くなる集団です。

■めざす組織のありかた

社員全員で設定した共通のゴールは「鉄で全てを勝ち取り みんなで自分の人生を最幸にする」です。鉄という自社の商品で、全てを勝ち取り、自分の人生を自分で幸せにするという価値観を掲げました。そのために、2025年には売上20億円、利益1.5億円をめざしました。共通のゴールを設定することで、1人1人が意見を言い合い、自分では思いつかなかったアイデアがどんどん社員から出てきました。

そして、今年は売上20億円を突破し、8年前に掲げた35億円の実現が見えてきています。これは、「自分の可能性を信じ、社員の可能性を社員以上に信じている」からです。年齢・性別・学歴関係なく、我が社の社員なら絶対にできる！と信じています。

私は「理想を追い求め現実を変える」という言葉が好きです。会社経営をしている中で、毎日問題が起きます。それでも歯を食いしばり、「こうなりたい」と理想を追い求める人が経営者だと思います。理想を語り合い現実を変え、広島、日本を良くしていきましょう。（記：事務局 中野）

広島中支部第28回定時総会 (5/27開催)

「経営・魂・躍動」

～企業変革に対峙して、さらなる進化を成し遂げよう～

5/27(火)、TKPガーデンシティ広島にて広島中支部総会が開催されました。

当日は多くの会員が集い、支部の未来を左右する重要な議案について、熱心な議論が交わされました。会員一人ひとりが自己変革を遂げ、企業の持続的な発展を実現するための、まさにキックオフの場となりました。

総会終了後には、各地区会に分かれて地区総会が開催され、より地域に根差した課題や活動について、さらに議論が深められました。

変化の激しい時代だからこそ、経営者は立ち止まることは許されません。中支部は、これからも会員企業の「企業変革」と「進化」を全力でサポートしていきます。

(記：事務局 児玉)



山回支部長

広島東支部第28回定時総会 (5/12開催)

「更なる飛躍へ」

同友会活動を自己・自社の成長に120%活かそう

5/12(月) にリーガロイヤルホテル広島にて広島東支部定時総会が開催され、会員133名が参加しました。

総会の部にて、すべての議案が提案・承認された後、地区会表彰が開催、南②地区会が優勝を果たしました。

続いて、西本支部長が2028年度に向けた広島東支部中期ビジョンを発表。会員が活躍できる場を増やし、更なる活性化・発展のため、新支部設立の検討を進めることが共有されました。

懇親会の部では地区会対抗企画を開催。地区会の絆を深めました。

(記：事務局 橋詰)

地区会表彰の様子
西本支部長(左)、南本地区会長(右)

広島西支部第28回定時総会 (5/15開催)

「聞く・喜ぶ・伝わる」

5/15(木) 広島サンプラザにて、広島西支部定時総会および各地区会総会が開催され、69名が出席しました。

25年度は「聞く・喜ぶ・伝わる」になりました。「聞く」は、単に耳で聞くではなく「心で向き合い傾聴する」ことを意味しています。「喜ぶ」は人と顔を合わせ、繋がりの中で生まれます。そして「伝わる」ためには、相手への思いやりが不可欠です。

これらのスローガンを定時総会で確認してこの1年間、支部・地区会できちんと取り組んでいくことを共有しました。

(記：事務局 大塚)



西支部総会

福山支部第43回定時総会 (5/14開催)

「私たちが創ります 私たちの学び舎を」

5/14(水) に福山ニューキャッスルホテルで福山支部定時総会が開催され、会員109名が参加しました。

第一部の総会と福山支部の新しい中期ビジョンの発表に続いては、㈱オーザック 取締役副社長 岡崎瑞穂氏(代表理事)による記念講演が行われました(概要は『同友ひろしま7月号』に掲載予定)。「人を生かす経営」が発表されて50年の今年。総会、ビジョン、記念講演を通じ、改めてその意義を感じた福山支部総会でした。

(記：事務局 本田)



第43回福山支部総会

尾道支部第33回定時総会 (5/15開催)

学びを即実践！ 同友会で共に未来を創ろう

5/15(木) グリーンヒルホテル尾道にて、尾道支部定時総会を開催しました。48名が参加しました。

尾道市長をはじめご来賓の皆様もお立会いの下、昨年度の振り返り、今年度支部方針が共有されました。

基調講演では、㈱アイ・エム・シー ユナイテッド 今津 正彦氏(広島北支部)よりご報告をいただきました。M&Aでの経験から、求人社員教育に積極的に取り組まれる姿に、支部全体で同友会の学びを深める定時総会となりました。

(記：事務局 保田)



立石支部長

東広島支部第33回定時総会 (5/10開催)

指針を持ち、ビジョンを掲げよ！

東広島支部総会は、5月10日西条HAKUWAホテルにて開催、65名が参加しました。

2024年度9月に東広島事務所を開設し、支部理事会、委員会、地区会役員会・例会・小組会を開催しています。また昨年度より支部指針書を掲げ、会勢300名突破めざしています。

総会懇親会では、音楽同好会が懐かしの昭和ポップを演奏し、会場を盛り上げていました。

(記：事務局 川口)



同友会音楽同好会

備北支部 第3回定時総会 (5/20開催)

「経営者の輪を広げ、50名会員へ」

備北支部総会は、5月20日三次十日市きんさいセンターにて開催し、参加者25名でした。

増田支部長の開会あいさつ後、立石代表理事より激励の挨拶、2024年度活動報告・収支報告・会計監査報告、2025年度活動方針・予算・役員体制の提案があり、無事に承認されました。



備北総会

第二部では場所を移動し、山陰海鮮炉端かばにて懇親会。各会社の近況、備北支部のこれからを語りあい、交流を深めました。

(記：事務局 川口)

広報部、初の試み

「広島の中小企業と地域の広報ラボ」

広報部では、広報誌「同友ひろしま」とwebサイトで活動報告や同友会の情報発信に取り組んでいます。支部でも魅力的な活動を支部報やSNS等を使い、工夫を重ねて発信中です。そんな広報委員の悩みは「広報誌を読んでもらえない…」。

それならみんなで学ぼう！と、昨年度から議論を重ね、8月23日(土)に「広島の中小企業と地域の広報ラボ」という勉強交流会を企画しました。伝え方の工夫は企業の営業だけでなく、採用や地域活動でも必要不可欠。悩める会員の皆さん、一緒にSENDA LABで学びませんか？企画等詳細は随時特設ウェブサイトで発信中です。

(記：事務局 青芝)

広島の中小企業と地域の
S 広報ラボ

新 会 員 の ご 紹 介

5月支部理事会で承認された皆さんです。

支部名	地区名	会 社 名	役 職	氏 名	会 社 住 所	推 せん 者 名
広島東	南①	(同)ハウジング	代表社員	高 木 宏 明	広島市南区大須賀町12-3	林本 康人・三好 長晶
	南②	革仙家Style(同)	代表	小 畑 敬 義	広島市佐伯区湯来町多田3527-1	古本 圭輔・中西 健二
	南③	麻雀snow	代表	桑 原 貴 嗣	広島市中区流川町7-3 ゴールド観光ビル2F	田上 聡・近藤 亨
	南④	PRIMAL+	代表	村 上 亜 希 子	広島市西区井口明神1-14-12-1201	小早川直美・檜山 裕亮・吉田 州伸
広島西	西	㈱CAN be CAREER	代表取締役	橋 本 州 朗	広島市中区大手町1-7-21-402	東 葉衣
	佐伯	creative Lab.DOLCE	代表	阪 本 裕 二	広島市佐伯区杉並台12-13	茂 木 武志
広島北	安佐北	H モ バ イ ル ㈱	代表取締役社長	関 晴 樹	広島市安佐南区上安2-16-34河地ビル103	松本 有示
	安佐北	虹とおひさま広島支部 巡	代表	矢 野 清 美	広島市南区皆実町6-3-26-1001	前 克寿・花木 勝徳
福 山	E	i S T A G E	代表	今 橋 宏 輔	福山市幕山台2-2-17	高橋 由倫
	S	㈱HOTEL SMOKE	代表取締役	宮 川 洋 一	広島県府中市府中町754-2	立石 克昭
呉	呉中央	広 南 開 発 ㈱	取締役	中 川 博 文	呉市倉橋町9483-1	池田 隆司
	広島西	㈱芝岡産業	専務取締役	今 津 康 平	呉市広多賀谷2-2-11	中里 嘉孝
東広島	東広島西	ち ゃ っ か	代表	角 井 亮 太	竹原市吉名町3003-1	大淵 健成
	東広島東	㈱アットコンパス	代表取締役	檀 上 英 子	東広島市八本松南4-12-15	山本 京子・実森 尊信
	東広島東	高 光 養 鶏 場	代表	高 光 哲 哉	東広島市豊栄町吉原3104	有原 直樹

2024年度第12回県理事会報告

日時 5月19日 議長 能登副代表理事 出席 32名

●中同協関連

- ・中小企業魅力発信月間キックオフ行事(6月12日 Zoom開催)のご案内。
- ・環境経営・地球環境交流会(6月26日-27日 広島開催)のご案内
- ・全国総会IN神奈川(7月3日-4日)のご案内。

●外部関連

- ・公益財団法人広島県男女共同参画財団評議員に村井副代表理事が再任することを報告。
- ・岡山同友会40周年記念行事(5月28日)へ、立石代表理事が出席、お祝い金1万円を承認。

●報告&承認事項

- ・広島同友会第53回定時総会の運営確認。(議長は村井副代表理事・今津副代表理事。議事録署名人は村上理事、宮崎理事。

書記は木下事務局次長。以上の選任を承認)

- ・議案書についての質問が2点。それに対する回答の文章を確認。
- ・中小企業魅力発信月間キックオフ行事にて、広島同友会アンケートの取組みの事例報告あり。資料をもとに報告。

●支部より

広島中、広島東、広島西、広島北、福山、呉、尾道、東広島、三原、備北の各支部より総会の様子、新年度方針の特徴、支部の強みについて報告あり。

●組織委員会より

4月末会員数は3005名。総会懇親会での表彰概要が報告されました。

●県総会フォーラム実行委員会より

経営フォーラム2025に向け、記念講演、分科会の決定が報告されました。

●政策委員会より

経営者保証に関するガイドラインについて、広島銀行より勉強会の提案があり実施。

(記：事務局 川口)

ちよつとした話

数は力で数は知恵。熱い思いをアンケートで伝えていこう。

政策委員会 委員長 宮崎 基

7月1日から20日まで、今年度第1回目のアンケートを実施します。

「またか?」と思わないでください。この年2回のアンケートこそ、我々の思いや今の経営の現状を行政、はじめ金融機関、あるいは政治に伝えることのできる唯一の手段だからです。

前は2072という回答者数をえることができました。これだけの中小企業の声を集められるのは、広島県中小企業同友会のほか類がないと思っています。人手不足に人件費のアップ、それにトランプ関税の影響など

我々を取り巻く経営環境は悪化のいっとを辿っています。今、何が自社にとって問題で、何を政治に求めていくのか。この年2回のアンケートに答えることで、自社経営の足元を見つめ直す良い機会にして頂ければと思います。

数は力で、数は知恵です。多ければ多いほど、その影響は大きな力となります。

今回のアンケートも、お互い声掛けをしながらより多くの声を集めていきましょう。

**7月は中小企業
魅力発信月間です。**



7月20日は中小企業の日

「あとりえ.SHINKAWA」リニューアルオープン



清恵氏（広島北支部）では、2階フロアにジュエリー制作とリメイクができる工房が新設されました。

職人の手仕事を間近に見学することができるオープンな工房では、職人と一緒に世界に一つしかない純銀ペンダントづくりも体験できます。

サステナブル(持続可能性)と経営理念の日本の伝統技術の継承をテーマに、金を通じて環境問題を問うオブジェやパネル、再生可能な素材と日本の伝統技術と融合したジュエリーアート作品群が展示されています。

子どもから大人まで楽しめる、まるで博物館か美術館に迷い込んだかのような空間です。

(記：事務局 岡崎)

3月に「あとりえ.SHINKAWA」としてリニューアルオープンした、(株)新川本店（代表取締役 工藤

あとりえ.SHINKAWA

住所 / 広島市安佐南区相田1-15-21 定休日 / 水曜定休

広報部より

e.doyuアクセス率Best15
(5月にe.doyuに一度以上アクセスした方の率)

順位	支部	地区会名	アクセス率
1	広島東	南②	88.0%
2	備北		85.7%
3	福山	G	78.3%
4	広島東	南④	77.6%
5	福山	P	77.5%
6	福山	F	76.6%
7	尾道		74.0%
8	福山	D	73.0%
9	福山	S	72.7%
10	三原		72.4%
11	東広島	東広島東	71.9%
12	広島中	中⑨	71.4%
13	広島東	南①	69.6%
14	福山	B	69.2%
15	広島東	東	68.9%
県平均			65.3%

広報部では、e.doyuのログイン率、例会への参加登録率などを毎月ご紹介しています。e.doyuと名簿アプリの活用率を高めるとともに、地区会の活性化につながれば幸いです。

例会出欠登録率Best15
(5月中に自地区会(支部)の例会に自分でe.doyuから出欠登録した方の率)

順位	支部	地区会名	出席登録率
1	福山	F	77.9%
2	備北		77.1%
3	福山	G	73.9%
4	広島東	南②	72.8%
5	福山	I	70.8%
6	呉	呉南	68.8%
7	福山	J	68.2%
8	東広島	東広島東	67.4%
9	広島東	南④	67.3%
10	呉	広北	65.5%
11	福山	P	65.0%
12	広島中	中③④	61.8%
13	尾道		61.4%
14	福山	D	60.3%
15	広島中	中①	58.6%
県平均			54.8%

入会率Best15
(2025年度の入会者数/期首会員数)

順位	支部	地区会名	入会率
1	東広島	東広島東	6.6%
2	広島北	安佐北	5.1%
3	福山	A	5.0%
4	広島西	西	4.2%
5	呉	呉南	3.9%
6	福山	P	3.8%
7	福山	B	3.5%
8	福山	G	3.3%
9	広島西	佐伯	3.1%
10	広島東	南④	2.8%
11	広島東	南①	2.4%
12	福山	S	2.31%
13	呉	広西	2.27%
14	広島中	中⑨	2.26%
15	福山	E	2.2%
県平均			1.7%

名簿アプリダウンロード率Best15
(6/2現在)

順位	支部	地区会名	DL率
1	広島東	南②	98.1%
2	広島東	南③	89.4%
3	広島東	東	88.7%
4	広島東	安芸	88.4%
5	広島東	南④	87.9%
6	広島東	南①	87.2%
7	尾道		86.6%
8	福山	K	86.5%
9	広島中	中①	79.3%
10	福山	I	79.2%
11	福山	J	75.0%
12	呉	広東	74.3%
13	福山	G	73.9%
14	広島西	佐伯	73.5%
15	広島中	中③④	73.0%
県平均			72.5%



2025年8月23日(土) 13時~17時
小さな会社の伝える力が未来をひらく
広島県中小企業と地域の広報ラボ@SENDALAB

※2025年度より「出席」登録から「出欠」登録に集計を変更。